

診 断 京 都

新 年 号

(題字 橋口会長筆)

目 次

役立つための努力を……………町 田 昭(1)

京都駅前地下街ポルタの誕生と反応……………(2)

井上六平・寺内 隆・一井玉雄・富井基博
三好通弘・藤本貞次・山田直之助・臼井輝夫

京都支部だより……………(12)

役立つための努力を

京都府立中小企業総合指導所

所 長 町 田 昭

新春を迎え、謹んで御慶びを申し上げます。

旧年中は、中小企業指導行政に対し多大のご協力を賜わり、厚く御礼申し上げます。

おかげさまで、中小企業総合指導所も満20年を迎えることとなり、共に慶びたいと存じます。

昨年は、1980年代の幕明けの年として、不透明、不確実の年であろうと云われ、警戒心を持ってスタートしましたが、確かにエネルギー情勢、政治経済情勢に不安も多く、又予期しない冷夏現象も加わり、後半には景気に曇り現象が出るなど、気の許せる日のない年ではありましたが、何とか大事に至らず新しい年を迎えました。

今年も基調としては、どうやら昨年の延長で、油断の出来ない年になりそうです。

しかし、「備えあれば憂い無し」です。過去の経験を生かし、しっかり備え、無事乗り切っていただきたいものです。

今日は例外はあるとしても、一応必要な物は持っており、又、物も豊富で、入手しようと思えば入手出来、又、サービスも豊富で、容易に提供が受けられるという「買手市場」の時代です。

それだけに、買手側の、役立つものと役立つぬものとの選別も強まり「利用されるところとされないところ」「売れる物と売れない物」そして「伸びる企業と伸びない企業」など明暗が、いよいよ強まるのではないかと考えられます。

このことは、中小企業診断士の皆様のお仕事についても例外ではないと思います。役立つものになるものになるために、一層の工夫と努力が望まれるところです。

私も、昨年4月に4年振りに指導所勤務となりましたが、私自身亦指導所自体も中小企業者に役立つものとなるため、一層の努力をしたいと心を新たにしているところです。

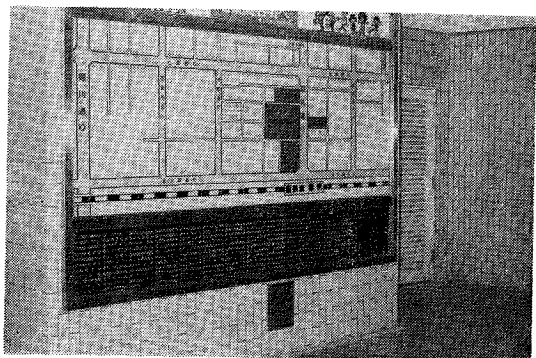
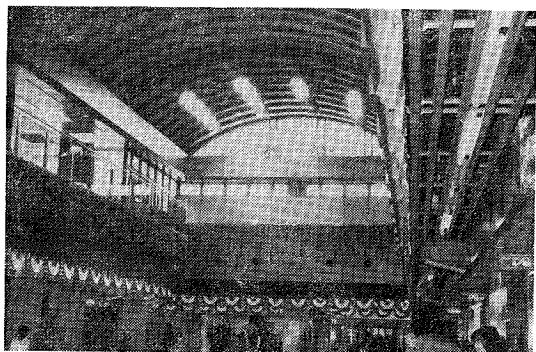
引続き皆様のご指導、ご協力を心からお願い申し上げます。

地域の新しい動き

—京都駅前地下街“ポルタ”の誕生と反応—

明治の東京遷都で京都は都でなくなったことによる衰退を防ぐため、勸業施策がとられ、全国に先がけわが国で一番目といった近代事業もいくつか生まれた。その中に市電の開通がある。ところがいろいろな事情はあるものの、また事の是非は別として、地下鉄の敷設並びに地下街の建設は、わが国の大都市の中では全く遅れをとった。それが地下鉄は目下鋭意建設中で今年4月開業の運びとなる予定であるが、地下街は地下鉄より一足早く昨年11月27日に目出たくオープンした。

オープン初日は30万人、初めての日曜日は50万人といった人出があって好調な出足をみせた。京都及び滋賀にとっては初めての地下街であるだけに各方面から多くの関心が寄せられており、その動向が注目される。規模は大きくないが、京都の表玄関に立地しているといった地の利もあって、今後に予定されている京都駅南口の再開発事業とも相俟って、地域にとって新しい動きをもたらすものとなることは間違いない。ついでには1981年の新しい年を迎えるに当たり、京滋地域の新しい動きとしての京都駅前地下街“ポルタ”を特集として取り上げた。



1. 地下商店街「ポルタ」

(1) 規 模

売場総面積は約8,000㎡である。店舗数は207店で、その内訳は物品販売の個店63店、同ケース店120店、飲食店24店となっている。

(2) 街づくりの方向

気品にあふれ、ファッションナブルで個性豊かな街、品揃えの十分なショッピングセンターづくりが志向されている。

(3) 業種構成

ファッションゾーンを主体に文化品ゾーン、おみやげ、食料品ゾーン、飲食ゾーンで売場が構成されている。各ゾーンの性格は次のとおり。

- ・ファッションゾーン…ヤングファッション、ハイファッションからなる。京都そして日本のファッションの源となる新しいライフスタイルの創造をめざす。
- ・文化品ゾーン…暮しにうるおいをそえる文化品ゾーンとして、新しいライフスタイルを指向する文化品、レジャー用品等で構成。
- ・おみやげ・食料品ゾーン…京の伝統を伝えるおみやげをはじめとした雅趣あふれるものから、ファッションフーズといわれるヤング、ニューファミリー志向のものまでいろいろミックスする。
- ・飲食ゾーン…京料理はもちろん世界の料理の専門店が一堂に集まり、トータルなイメージをもつ味のプロムナード。

また業種構成は次のとおりである。

・合 計	207店 (うち京都141店)	100%
・衣 料 品	34 (8)	16.4
・身 回 品	12 (1)	5.8
・雑 貨	13 (10)	6.3
・テークアウト	4 (3)	1.9
・飲 食 店	24 (12)	11.6
・趣味・工芸品	19 (19)	9.2
・食 料 品	18 (12)	8.7
・菓 子	83 (76)	40.1

これらの店はいわば全国の有力店である。このうち地元京都からは老舗など68.4%に当たる141店が出店している。特に京都色が強くなっているのは趣味・工芸品（京都の出店の占める割合100%）、菓子（同91.6%、和菓子は同100%）である。逆に衣料品（他都市の出店の占める割合76.5%、身回品（同91.7%）のファッション品及び喫茶（同62.5%）は他都市色彩が濃くなっている。

なお、ちなみにこれらテナントの入居条件は次のとおり。(契約面積 3.3m²(坪) 当り千円)

	物 品 販 売 業	飲 食 業
・入居保証金	基本 2,450	基本 2,310
・敷 金	” 1,050	” 990
・家 賃	売上月額270千円までは10%, 270千円を超えた場合は超過額 の4%を加算。 但し、最低賃料30千円。	売上月額200千円までは10%, 200千円を超えた場合は超過額 の7%を加算。 但し、最低賃料25千円。

(4) “ポルタ” の特徴

立地の特徴としては、国鉄京都駅の地下にあって、京都駅発着の列車本数は新幹線約200本、その他の国鉄約400本、このほか多数のバスが発着し、さらに今年4月頃には地下鉄烏丸線が開通する予定になっているといった、京都市の交通のかなめであるターミナルに位置していることである。また売場並びに建物の構造の特徴は、店舗が公共地下鉄に面して配置されること、及び自然とのふれあいによる明るい雰囲気をもつ人間本位の街づくりとしてサンクガーデンが設けられていることである。

(5) 商 圏

商圈は京都市の四条通以南、南山域全域、滋賀県、山陰線の福知山以南をターゲットしている(京都新聞、昭和55年5月23日)。これら商圈人口は昭和60年には300万人になると見込まれている。昨年の開業時には1日40万人(商圈内容31万(一般客16万人、通勤・通学客15万人)、観光客9万人)の来街者が目論まれていた。なお昭和60年には京都駅の1日の乗降客は50万人(国鉄26万人、近鉄8万人、地下鉄16万人)が予想されている。

(6) 客 層

京都の若い女性が主な顧客と想定されており、年齢構成は次のようになると予想されている。

・19歳以下	20%
・20代	47%
・30代	10%
・40～55歳	14%
・56歳以上	9%

約70%が30歳未満のいわゆるヤング及びヤングアダルト層なのである。

(7) 売上目標

昭和56年度(56年4月～57年3月)の全店の売上げ目標は120～130億円とされている(昭和55年11月11日、日経流通新聞)。

地域別テナント数一覧表

業種別		地域別	店 舗 数					合 計	記 事
			京 都	東 京	大 阪	神 戸	そ の 他		
物 販 (個 店)	衣 料 品	紳 士 服	1	2	1			4	
		婦 人 服	5	10	4	2	4	25	
		呉 服 ・ 和 装	2	3				5	
		小 計	8	15	5	2	4	34	
	身 回 品	靴・ハンドバッグ		5	1	1		7	
		手芸・装飾品		1	2		1	4	
		旅 行 用 品	1					1	
		小 計	1	6	3	1	1	12	
	雑 貨	医 薬 ・ 化 粧 品	2		1			3	
		時 計 ・ 宝 石	3	1				4	
		文 化 品	5	1				6	
		小 計	10	2	1			13	
		テークアウト	3	1				4	
		合 計	22	24	9	3	5	63	
飲 食 店	食 堂	9	1	6			16		
	喫 茶	3	1	3	1		8		
	合 計	12	2	9	1		24		
物 販 (ケ ー ス 店)	趣 味 ・ 工 芸 品	19					19		
	食 料 品	12	2	3		1	18		
	菓 子	和 菓 子	69					69	
		洋 菓 子	7	2	2	3		14	
	合 計	107	4	5	3	1	120		
総 計		141	30	23	7	6	207		

注 この他にサービス部門としてプレイガイド、日本キャッシュサービス。



2. ポルタ誕生の反応

(1) 出店者

「ポルタ」を栄光の門としたい

株式会社 井 六 園

取締役社長 井 上 六 平

熾烈な入店競争をかちぬきポルタ出店を果たした感激も覚めやらぬまま、早くも一カ月が過ぎようとしている。

ポルタへの出店は私にして見れば創業の地に近く、累代の六平が営々として築いて来た井六園に激しく移り変わる流通戦国時代の新しい橋頭堡を築こうとしての挑戦そのものであった。そしてこの拠点獲得は、将来的に見て企業のビジョンを語る時、大きな重みを持つことと思う。

さてこの様にして得たポルタの店であるが、これが栄光への門となるにはまだかなりの時間と試練が必要であろう。

オープン狂想曲がようやく終息し、街が次第に正常な顔を見せ始めたこの頃、つくづくこれは難かしい場所であることをうかがわせる。予想以上にである。

街全体がファッション性を打ち出す時、食品文化ゾーンとの調和をどうするのか、客層のしほり込み、販売コストと効率の問題、繁忙期と閑散期の対策など、試練の中で「気品と個性」をどう発揮するか、多くの課題に今新たな意欲をもやす私である。

「ポルタ」に出店して

株式会社 寺 内

代表取締役専務 寺 内 隆

京都駅前に地下街「ポルタ」が誕生した。かつて四条通りで色々世話をしながら遂に果せなかった地下街の夢が京都駅前で実現したと言えるわけで、これは私にとって喜ばしいばかりでなく、当社も出店してよかったと思っている。

今回の出店については京都の昔と今をはっきり区別して考える必要があり、それに四条や河原町とポルタでは商圈が違ふし、客層も変るから本店では古くからの常得意客が中心であるが、ポルタ店は若年層を対象に商品構成もヤング向きの品揃えに、店も思い切って新しい地下街としての店構えに変えて見た。

京都は従来、婦人客も多いが、観光客も多いから観光と食事とショッピングを楽しんでもらうべきだと、かねがね思っていた、それらの条件がポルタの開店により更に加えられたわけで、この地下街の企画は成功するだろうと私は見ている。

と言っても、本店の所属する四条繁栄会の発展については今後も従来以上の努力を惜しまぬつもりである。

(2) 近接の商店街

「ポルタ」と七条商店街

七条商店街振興組合

理事長 一 井 玉 雄

◦ポルタができるまで

ポルタが出来るという計画をきいたとき商店街にとっては、スーパーと小売店という連想から被害者意識が強かった。しかし地下鉄線の実施に伴う駅前整備の一環としての総合計画を聞くに及んで、役員鳩首協議を重ね、「条件付き賛成」への意識を盛りたて地域開発のための大前提のもとに促進連盟作りに成功した。この間、市、国鉄、商店連盟、各団体へ日参し、商店街の真の要望を伝え、その実現に最大限の努力をした。

◦ポルタ開店後について

小異を捨て大同につく立場で促進連盟を通じ運動し、それを母体として京都駅前振興(株)を組織し、公共地下道の建設やその他の問題点を解決し機に応じて街路灯を設置し商店街の意識向上の成果をはかった。

◦今後の七条商店街の方向

街路灯建設と同時に今迄商店街活動に批判的、休眠的態度の商店二十数店が新たに加入され意を強くしている。これからは相争う立場でなく共存共栄の立場で事業を推進したいと希望しており、且つそれが商店街に利益をもたらす方法と信じている。

(3) 都心商店街

「ポルタ」出現の教訓

河原町商店街

丸竹 主人 富 井 基 博

京都駅前地下街「ポルタ」が意欲に燃えてオープンした。当日の新聞記事を読むと、四条河原町界限以上の、ショッピングセンターにして、顧客を呼ぼうという意図らしい。

今まで京都には、四条河原町を中心とする商店街以上のものは、他になかった。

だから、という訳ではないが、この地で永らく商いを続けている私の気持の中に、あぐらをかいている部分があるのを否定出来ない。

しかし、時代は進み、流れは変わってゆく。「ポルタ」の出現は、老舗だとか、京都一の繁華街とかいうものを、過去の遺物にしてしまう脅威を感じさせる。

今度は我々が、「ポルタ」に負けるな、という意欲を持って、それぞれの商いにどんな特徴をもつか、どんな計画を進めるかを考えながら新しい商店街のあり方を研究し、努力しなければならない時期に到達したことを、はっきり自覚すべきだ、と思っている。

「ポルタ」の開店に対して

京都祇園商店街振興組合

理事長 三好通弘

こんど京都駅前地下街『ポルタ』が愈々オープンした。京都では初めての地下商店街の誕生である。同時開通と期待された京都市地下鉄は約半年程遅れて発車との事である。地下鉄の運行も無論京都では初めての事であり、京都市の表玄関京都駅周辺は急に脚光を浴びる事になった。我々祇園商店街も当然乍らこの事に深い関心を持って居る。京都のメインストリート四条通り河原町通りと云う商業地図がどう変わって行くか、それは四条通り河原町通り及び其の周辺の夫々の商店街の努力、動向が左右する事は間違いないと思う。河原町通りが立派に歩道の改修をされ、四条通り（四条大橋以西）もアーケードの建て替えの準備進行中との事、又新京極通りは、一挙にアーケード及びカラー歩道を一新する大工事が目下進められて居る。これらの環境整備は無論地下鉄開通、地下街オープンへの対応策である。我々祇園商店街も懸案のカラー舗道改修を計画して居り、色々な事情からまだ青写真は出来ていないが、古都祇園町の街並みを引立たせるカラー舗道を一日も早く実現したいと願って居るし、更には東山周辺の各商店街と共に環境整備に取り組み各商店の店舗改修と相まって充実した明るい街づくりをする事が、我々祇園商店街の急務と思っている。

(4) 周辺地区の商店街

「ポルタ」のオープンに思う

伏見大手筋商店街

副理事長 藤本貞次

京都駅前地下街「ポルタ」がオープンした。ポルタを実際に見た感想はと云えば百聞は一見に如かずと云った所で、第一にポルタは京都の顔ではなく、全国有力店の店競べの広場であり、その中に京の店が何割か出店している感じで、京都の店を結集して京都らしさを演出した広場ではなかった。しかし駅前に楽しい地下街が出来たと云う感じで、在来の駅前からは格段の発展である。

次に地下街は種々の条件があって地上の商店街の明るさと広さとおおらかさが出ないものだった。又商業的に見て寄合店舗の集合体の強さと弱さは避け得なかったようである。一流百貨店に見られるような綿密な計算の下に企画された商品構成や売場の演出がない。しかし特定の客層と商品については強力な集客力と販売力は持っていると思う。

何はともあれポルタの開店を起爆剤として京の商店街は、一段の変化と前進をするであろうから大手筋を含め各商店街が如何にその個性と特徴を演出して行くか、これが今後の発展につながる重大な問題であろうと思う。

「ポルタ」と大津商店街

大津疏水商店街

会 長 山 田 直 之 助

人、人、人の洪水、立ち止って商店を眺めることも、買物のために店内に入ることも出来ない人の渦……京都駅地下商店街ポルタ開店の熱気である。それはまた湖国の商店街にとって強烈なパンチでもある。

大津と京都の間は京阪電車を利用すると京都の中心街までは25分の距離だけに、今までからも大津の消費者の京都志向は避けられないところであった。55年度に県が調査された県下の消費者購買実態をみると、大津市民（調査世帯1,739）が県外（京都・大阪）で買物をしているとの回答は、アクセサリ・ハンドバック類35.6%、呉服37.0%、紳士服34.5%、婦人子供服30.8%、皮靴31.0%、贈答品32.2%など、比較購買志向の強い商品は軒なみ30%を超えている。京都・大阪にこれら商品の専門店が数多く営業し、買物を楽しませる要素の多いことは、われわれも残念ながら認めざるを得ない。ところが「ポルタ」は、勤めの帰りにチョット立ち寄るだけで京都をはじめ大阪、東京、神戸などの有名店のショッピングを楽しめるのだからこれは脅威だ。

大津市商店街連盟は11月に社団法人化に踏み切った。中小小売業者や商店街に課せられた社会的責任に応えられるよう脱皮を目指したのである。これからが正念場だといえる。

(大津市商店街連盟前会長)

「ポルタ」の今後に及ぼす影響と展望

京 都 商 店 連 盟

下京支部長 白 井 輝 夫

国際文化観光都市の表玄関、京都駅前にやっと地下街『ポルタ』が誕生した。昭和50年7月着行してから2年4カ月、総工費約105億円といわれ、総面積も約2万平方メートルもあるところのかなりスケールの大きいものとなった。京都駅は国鉄の新幹線はじめ東海道線、山陰線、奈良線、湖西線、そして近鉄京都線が乗り入れており、その上、バスの主な系統も発着点にしている一大ターミナルであり、もともと立地的には、集客力は決して都心の四条河原町にひけをとらない、あるいはそれ以上の要素をもっているにもかかわらず、今まで、お客を滞留させる商業施設が少なすぎたために、自然とお客を都心の四条河原町に吸い取られていたといっても、過言ではあるまい。

京都は他都市と比較して、どちらかと言えば繁華街が1カ所に集中している。言うなれば商業の核が1カ所しかないというところに問題があったし、歴史的に近くに東西本願寺をひかえながらという特殊事情もあり、とにかく商業核が1カ所だけということは機能的には不完全なものであると言わねばならないだろう。したがって、今回の『ポルタ』の出現は、まさに、商業核がもう1カ所出来たということで、都心と競争、むしろ機能的には互いに補完し合うことで、お客の回遊性も生

まれてこようと思われるものである。これは前述したように、京都駅の乗降客は多く、平均20万人といわれるからなおさらであり、『ポルタ』が駅前広場の立体整備事業として第三セクター方式で、かなり大がかりなものとしてそのテナント数も、207店舗とその規模からみて四条河原町に匹敵するものだろうと思われる。

こういった観点から、商業集積が飛躍的に拡大し、京都駅前一带の集客力が何倍にも増大することは、まず、まちがいなかるうとみられるし、隣接の近鉄百貨店、タワーデパート、観光デパート、が互いにしのぎを削るようになるし、加えて周辺の商店街もお客の回遊性が出てくることはたしかに予測される。しかし、ここで周辺商店街として考え直さねばならないことは、自らの企業努力と環境整備を続けなければ、せっかく生まれるであろう回遊性が活用されずに終る怖れがある。だから、私はあえて声を大にして叫びたいのは、今回のいわゆる駅前だけでなく、駅周辺の再開発を今一步進めねばならない。すなわち、西は堀川通、東は加茂川、北は七条通、南の八条口側の再開発と、地下鉄開通と相まって、今後、国際文化観光都市京都の百年の計として、絶対に進めねばならないものであり、駅周辺の商店街が、必ずしも他力本願だと言わなくても、京都の行政サイドでも抜本的に考えてもらわねばならないことをこの機に提言しておきたい。

選ばれたコーヒー豆
力強い“看板”です



小川珈琲株式会社

京都市右京区西京極北庄境町20番地
電話 (075) 313-7333 (代)

滋賀営業所 滋賀県野洲郡野洲町三上神守田498
電話 (07758) 8-1147 (代)

京のアメ横・秋葉原



営業品目 時計・貴金属・喫煙具・万年筆・
舶来雑貨・ゴルフ用品・電化製品

本店/二条通河原町西 ☎ 211-3408代

支店/百万辺電停東 ☎ 781-4608

支店/京都駅前近鉄百貨店内

グランマルシェ 2F



幸せを美しく……ご婚礼衣裳

たかみ

京都店/下京区五条通河原町西
☎ (075) 341-3221 (代)

小松水産株式会社経営

鮎料理

松 水
しょう すい

滋賀県志賀町北小松 佃煮専門店近江松水
(07759) 6-0251 東山区大和大路団栗下
事務所 (07759) 6-0122 (075) 531-2877

あけましておめでとうございます

昭和56年元旦

(社) 中小企業診断協会京都支部有志

<p>荒尾 義 晴 京都市下京区下魚棚通堀川西入 TEL 341-5331(代) 〒600</p>	<p>島津 清 一 郎 京都市下京区堀川通六条下る 元日町11 TEL 343-0861(代) 〒600</p>	<p>広瀬 来 三 京都市中京区烏丸通二条下る ヒロセビル TEL 222-2051 〒604</p>
<p>大木 徹 京都市東山区間屋町通五条下る 3丁目 TEL 561-6171~4 〒605</p>	<p>田畑 周 一 郎 京都市中京区高倉通丸太町下る 坂本町691 TEL 241-3361・3362 〒604</p>	<p>菱田 多 一 郎 京都市中京区上押小路通御前東入 北側 TEL 842-0001(代) 〒604</p>
<p>大幡 義 夫 京都市下京区黒門通五条下る TEL 351-2552・6860 〒600</p>	<p>城 道 雄 京都市右京区嵯峨朝日町2の16 幸栄ビル3階 TEL 881-2135 〒616</p>	<p>福 知 利 之 大津市唐崎三丁目20-7 TEL (0775)78-3667 〒520-01</p>
<p>片岡 憲 男 京都市中京区丸太町通衣棚西入 玉植町222 TEL 256-1880(代) 〒604</p>	<p>中谷 弥 太 郎 京都市下京区東洞院通五条上る TEL 351-8449・2140 〒600</p>	<p>堀 村 清 蔵 京都市下京区西洞院通七条上る TEL 361-4455(代) 〒600</p>
<p>黒川 倉 市 京都市中京区丸太町通東洞院東入る 藤原ビル TEL 211-6010 〒604</p>	<p>中村 貞 次 郎 京都市右京区西院三蔵町20 TEL 311-2656(代) 〒616</p>	<p>森川 八 十 一 京都市北区紫野中十二坊町28-2 TEL 463-6972 〒603</p>
<p>黒崎 徳 之 助 京都市上京区浄福寺通下立売下る 中務町490-19 TEL 801-0501(代) 〒602</p>	<p>中 窪 嘉 邦 京都市右京区御室小松野町31の3 TEL 462-7497 〒616</p>	<p>山 口 敏 雄 京都市左京区吉田近衛町26の62 TEL 761-1514 〒606</p>
<p>久保 文 男 京都市中京区室町通夷川上る鏡屋町 36の2 TEL 231-0403 TEL 222-0403 〒604</p>	<p>中野 善 蔵 京都市上京区西日暮丸太町下る 四丁目 TEL 811-2750・8732 〒602</p>	<p>山本 淑 郎 京都市北区堀川北大路上る西入 ワダビル TEL 491-4957 〒603</p>
<p>桑原 博 京都市中京区御幸町通二条上る 達磨町590 TEL 222-0278 〒604</p>	<p>西畑 好 彦 京都市中京区西洞院通二条上る 薬師町652 TEL 231-5207 〒604</p>	<p>和田 忠 儀 京都市下京区河原町通六条下る ワダビル TEL 351-7127 〒600</p>

京都支部だより

—昭和55. 9～昭和55. 12—

○行事・会議等

- 9. 10 マネージメントゲーム研修会につき打合せのため常任理事会を開催す（京都府立勤労会館にて）
- 9. 24 マネージメントゲーム研修会実施要領協議のため理事会を開催す（京都府立勤労会館にて）
- 10. 1～2 両日にわたり京都支部の新しい事業として、マネージメントゲーム研修会を実施す（京都平安会館にて、設営、進行、山本、ゲーム指導、チーフ、黒崎、アシスタント、大村、村上、桑垣の各先生）
- 10. 15 新会員名簿（改訂版）を会員並びに関係先へ配布す。
- 10. 25 「診断京都」新年号発行につき方針協議のため編集委員会を開催す（京都商工会議所特別室にて）
- 10. 28 中小企業診断士登録更新研修会報告その他打合せため実行委員会を開催す（京都支部事務所にて）
- 11. 8 「診断京都」の内容と原稿依頼先など協議のため編集委員会を開催す（京都平安会館ロビーにて）
- 12. 3 マネージメントゲーム研修会の報告、今後の事業計画その他協議のため役員会を開催す（京都府立勤労会館にて）
- 12. 5 本部発行の「会員名簿」と81年版経営手帳を全会員に配布す。

○会員の消息

新加入

北出 龍三氏 住 所 滋賀県甲賀郡水口町大字酒人523（電話(07486)2-1483）

脱 退

西河 文雄氏（9月8日付）

住所変更

堀江 敏次氏 新住所 京都市西京区太秦北路町26-5（電話882-5443）

街にみどり
暮らしにゆとりを

 京都中央信用金庫

理事長 西村清次

本店 〒600 京都市下京区四条通烏丸西入
☎ (075)223-2525 (大代表)

あとがき

こんどの「診断京都」は京都の新しい地図の一つとして、京都駅前地下街をとり上げその特集号としました。ご高見を賜りたいと存じます。（編集委員、山本、奥平、福知、塩内）

診 断 京 都

<第13巻第1号>

昭和56年1月1日発行

社団法人 中小企業診断協会京都支部

〒604 京都市中京区丸太町通東洞院東
入藤原ビル TEL(075)211-6010

印刷所 真美印刷株式会社
TEL(075)821-2136(代)